

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 2月

平成30年2月1日の推計人口 1,350,140人
世帯数 560,990世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年2月1日現在の推計人口は、1,350,140人で、前月(1,351,249)に比べ1,109人の減少となった。

市部では大村市(180)、雲仙市(10)の2市で増加し、長崎市(418)、佐世保市(216)、南島原市(111)、平戸市(76)、五島市(69)、諫早市(63)、西海市(47)、松浦市(41)、壱岐市(37)、島原市(31)、対馬市(22)の11市で減少した。

郡部において波佐見町(16)、川棚町(7)の2町で増加し、長与町(79)、時津町(36)、東彼杵町(35)、新上五島(32)、小値賀町(5)、佐々町(4)の6町で減少した。

自然動態は、出生数909人、死亡数1,898人で989人の減少、社会動態は、転入者数2,710人(県内転入を含む)、転出者数2,830人(県内転出を含む)で、120人減少となった。

2 世帯数

平成30年2月1日現在の世帯数は、560,990世帯で前月(561,436)に比べ446世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…12月

1人あたり現金給与総額 569,473円
対前月比 111.8%増加
対前年同月比 0.4%増加

1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額569,473円で、前月に比べ111.8%増加し、前年同月に比べ0.4%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は249,685円で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ0.1%減少した。

特別給与額は319,788円で、前年同月に比べ、2,621円増加した。

2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は158.8時間で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ0.2%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は145.2時間で前月に比べ0.1%減少し、前年同月と比べ0.4%減少した。

所定外労働時間数は13.6時間で、前月に比べ3.8%増加し、前年同月に比べ6.3%増加した。

3 雇用

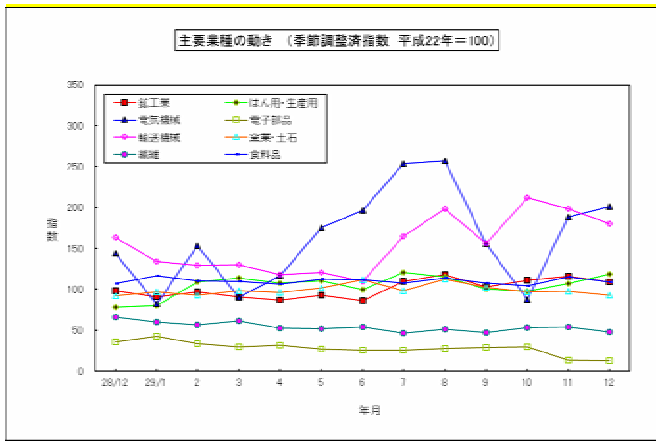
12月の常用労働者数は210,615人で、前月に比べ0.5%増加し、前年同月に比べ1.7%減少した。

【鉱工業生産指数】……………12月

平成29年12月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	109.2	5.7	111.5	13.2
九州	p113.2	p3.2	p114.2	p0.7
全国	106.5	2.9	105.2	4.4



平成29年12月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が109.2で前月比は5.7%の減、原指数は111.5で、対前年同月比は13.2%の増となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、電気機械工業など5業種が上昇し、繊維工業、輸送機械工業、食料品工業、窯業・土石製品工業、電子部品・デバイス工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	10.4	46.2	ボイラ
電気機械工業	6.9	23.0	交流電動機

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	11.9	29.3	織物製外衣
輸送機械工業	9.2	17.9	修繕船
食料品工業	5.4	0.2	水産練製品(すり身)
窯業・土石製品工業	5.1	0.7	生コンクリート
電子部品・デバイス工業	1.5	62.7	シリコンウエハ

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 1月

総合指数(H27=100)	101.7
対前月比 (%)	0.5
対前年同月比 (%)	1.5

平成30年1月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、101.7である。

前月比は0.5%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+2.1%、「交通・通信」の+0.2%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の4.1%である。

前年同月比は、平成29年10月は+0.6%、11月は+0.4%、12月は、+1.1%と推移した後、1.5%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.1であり、前月比0.1%、前年同月比は+1.1%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	2.1%
光熱・水道	0.1%
家具・家事用品	0.5%
交通・通信	0.2%
諸雑費	0.1%

下落した費目

被服及び履物	4.1%
教養娯楽	0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 1月

消費支出(一世帯当たり)	337,763円
前月比	1,070円増(0.3%増)

平成30年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は337,763円で、前月比0.3%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は88.6%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	70,419	31.0
住居	15,608	14.6
光熱・水道	25,750	8.5
交通・通信	61,988	65.8
教養娯楽	42,684	51.5

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。